



ベトナムナショナル大学自然科学部の化学実習

裏話と秘話

連載 1

ハイ、今週からはまるこの企画、そう、寄ってらっしゃい、見てらっしゃい。何を隠そう、この不肖ハクラク、お茶の水女子大学・理学部・生物学科の一介の教授。日ごろ、細胞だの、タンパクだの、見てきたような嘘をいい、イヤ、

嘘じゃないけど、とにかく、生物学の公爵、もとい、講釈をなりわいにしてる。

その一介の教授が、サバティカルという教員の再教育制度を利用して、半年間、欧州に放電、いや、充電にでかける予定だ。自分のお金で半年間、欧州の各大学をまわり、女子学生のキャリアパスを調査研究しようと考えている。女子学生でもとびきりの美人、つまり、ミス〇〇大学とのインタビューを通して、その国の高等教育事情、就職事情、キャリアデザイン、ついでに、生活事情や恋愛事情も調べようという企画だ（一部に誇張があるけど）。

その連載の最初に、裏話と秘話を書いてしまう。大胆というか、あきれれるというか、マーね、性格なんだから直んないよ。

ウン？ 写真がヨーロッパ風に見えるし、ブロンド白人女性じゃないってか？ そう。今回は、この企画の腕試し。

欧州じゃなくて、アジア探索だ。サバティカルは2006年4月からで、今は2005年12月。数日の休暇をとってベトナムのホーチンで腕試しにやってきた。名門・ベトナムナショナル大学自然科学部の女子学生のキャリアパスを調査研究しよう。

ベトナムナショナル大学の創立は1995年1月だから、まだ暑い、イヤ、若い。ベトナムという国自身も、1976年成立だから、まだ暑い、イヤ、若い。訪問したのは12月なのに、まだ若い、イヤ、暑い。こんがらかった。

知らない大学で、どうやってミス・ベトナム大生を見つけてるか？ 一介の教授としてココでハタと困った。

大学のキャンパスを歩いてるうちに、美人学生を捕まえて、あーだ、こーだ、と質問すれば、記事は簡単に書けると人生ひどく甘く考えた。

それで、ホーチン市の繁華街から西に数キロのベトナムナショナル大学のキャンパスに出かけた。別のバス停と間違えて、手をあがた。市バスは止まり、親切な若い女性車掌が、「早く乗って！」。降りる時も、とても親切だった。バスの乗客は地元の庶民でとても強烈な人ばかり。



ベトナムナショナル大学自然科学部の食堂

ベトナムナショナル大学は、商店街に隣接した広大な土地にモダンな5階建ての校舎が並んでいた。昼時になれば、学生は食堂に集まる。昼飯を食べにくる美人学生を物色したが、現実にはキビシイ。

ヘンなおっさんがキョロキョロするもんだから、みんな避けて座る。

（4月から連載でお会いしたいお茶の水女子大学教授）

白楽ロックビルの 世界の女子学生：欧州編

ベトナムナショナル大学自然科学部の本部棟



ベトナムナショナル大学自然科学部の入口の門



上記の拡大写真



ベトナムナショナル大学自然科学部のコンピューターセンター



ベトナムナショナル大学自然科学部の門の前の大通り



ベトナムナショナル大学自然科学部の門の前の大通り



ホーチミンはオートバイの洪水



ホーチミンは排気ガスがひどい。オートバイの強盗マスク

